

平成30年度知の森基金を活用した短期海外活動支援プログラム 応募プログラム一覧

No.	学部	プログラム名/概要 (プログラム名をクリックすると、「実施状況及び成果」が表示されます)	プログラム実施概要			研修先	地域区分	参加 学生数	支援 学生数	知の森支援 額(千円)		知の森 支援総額	
			出国	帰国	現地滞在 期間(日数)					一人当たり	一人当たり		
①	人文学部	オックスフォード大学における人文学短期研修プログラム オックスフォード大学にて実施する、人文学の内容に特化した学修プログラム。同大学および関連施設におけるフィールド学修を経て、最終的には研究成果を英語でプレゼンテーションすることで学生にグローバル時代の人文学の方法を体得させることを目標とする。	2018/8/27	2018/9/10	13	イギリス	甲	11	10	70	700	千円	
②	教育学部	マレーシア教育実践インターシップ マレーシアの首都クアラルンプール市内の小・中・高等学校でインターシップを行う。教育学部生を対象としたプログラム。授業参観・実践などの教育活動の他、マレーシアの文化・歴史を知るための視察や現地留学中の信大生との交流も行う。	2018/8/26	2018/9/2	6	マレーシア	乙	12	10	60	600	千円	
③	教育学部	グローバル人材育成のための北欧教育視察プログラム 長野県内の教員になる学生および教職大学院で学ぶ現職教員を対象にスウェーデンの学校(幼・小・中に相当)を訪ねるプログラム。学校訪問を通じて長野県の教育を振り返るとともに、グローバルに活躍する人材の育成について教員の立場から構想を磨かせることを促す。また、期間中にウツララ大学教育学部で交流を行う。	2018/9/20	2018/10/1	10	スウェーデン	甲	6	5	70	350	千円	
④	経法学部	海外インターシップ研修 海外インターシップ研修を通じて、社会人基礎力を養う。研修先はタイやマレーシアの教育機関と現地の日系企業で実施し、本学卒業生を中心に研修指導を依頼する。また、今年度は大学間協定を結んだスリランカのクアラア大学での研修を計画し、現地日本企業に加え日本の援助機関(JICA)や日本貿易振興機構(JETRO)などと協力して研修を実施する。研修先は8月、スリランカは9月、マレーシアは3月に実施。	研修先により異なる	研修先により異なる	研修先により異なる	タイ マレーシア スリランカ	研修先により異なる	11	8	研修先により異なる	470	千円	
⑤	医学部	シンガポール夏期海外単位認定プログラム 平成25年にシンガポール総合病院と信州大学医学部が締結した学術交流協定を基盤として、医学部保健学科学生が、シンガポールの保健・医療現場、教育施設を見学・体験することにより、アジア先進国の保健医療の現状を理解し、将来国際保健・医療を担うことのイメージを高めることを目的としたプログラム。平成30年度は、シンガポール総合病院、KK女性と小児のための病院、プライムビジョン病院の臨床見学ならびにシミュレーション教育などを体験し、シンガポール工科大学を見学。	2018/8/10	2018/8/19	8	シンガポール	甲	10	2	70	140	千円	
⑥	工学部	グローバルエンジニア育成のための工学部マレーシア短期研修 本学協定校マレーシア・マラヤ大学で、専門的な講義と実習を体験する3週間のプログラム。大学で実際に使われる英語での授業、実習、実験、大学生生活を体験する「海外留学シミュレーション」を行うことで、参加者を中長期の留学派遣、国際的な研究者の輩出に導くことを目指す。今回より本プログラム生のためにDeep Learning, AI等入門の特設授業が3日間行われる。また、現地学生との交流、現地企業見学、リサーチ活動も予定。	2018/9/2	2018/9/22	21	マレーシア	乙	7	4	60	240	千円	
⑦	農学部	海外の森林・林業とフォレストラー研修・研究プログラム 森林・環境共生学を学ぶ学生対象のプログラム。ドイツ南部に位置するロッテンブルク林業大学で、研究者だけではなくフォレストラー(森林官)や作業員、公園管理者、行政担当者等、実際の技術者からもレクチャーを受けることで、理論と実践を包括的に学ぶ機会を与える。国内の状況と比較し、実態的な感覚を持って理解し、研究や技術の進展だけでなく、グローバルマインドを持って地域で活躍するための知見を身に付けることを目指す。	2018/9/14	2018/9/26	8	ドイツ	甲	6	3	70	210	千円	
⑧	繊維学部	ファイバー工学分野の技術者・研究者育成を目指した日中韓学生研修プログラム ファイバー工学分野における日本・韓国・中国の大学院生の交流の場を設け、学生達に国際的な感覚を身につけてもらい、将来、国際的に活躍できる技術者・研究者を養成することを目的とする。本プログラムは、平成19年より日本・韓国・中国の2か国間で開始し、平成23年より中国が加わり3か国の持ち回りで開催してきた実績を有する。今回は、中国で開催する。	2018/8/24	2018/8/31	8	中国	14	4	2	50	200	千円	
⑨	全学教育機構	マレーシアアトラ大学のELS語学センターでの英語集中プログラム参加を通じたグローバルマインドをもつ人材の育成プログラム 本学協定校であるマレーシアアトラ大学(UPM)併設のELS語学センターが主催する3週間の英語プログラムに参加し、四技能を集中的に訓練するプログラム。さらに、UPMの学生との異文化間交流も行い、長期海外留学へ向けて、モチベーション向上、英語力向上、グローバルマインド育成を目的とする。	2018/8/5	2018/8/26	19	マレーシア	乙	11	10	60	600	千円	
⑩	グローバル教育推進センター	カリフォルニア夏季研修2018: 地域活性化の体験型学習と実践英語プログラム(基礎/応用) 本学協定校であるカリフォルニア州立大学テコ校と共同で企画・実施する。少人数多国籍での英語クラスに加え、現地地域産業の講義や農場、農業関連企業での実地研修を組み合わせた内容。研修先大学での学生との交流を行い国際的な場面での発信力を鍛える。今年度は「応用コース」を新設し、より発展的な内容でグローバル人材としての基礎力を養成する。	2018/8/30	2018/9/21	22	アメリカ	甲	25	13	70	910	千円	
⑪	グローバル教育推進センター	「グローバルコア人材養成」海外インターシップ(マレーシア) 在マレーシア日系企業でのインターシップと本学協定校であるマレーシア・アトラ大学(UPM)での研修を行うプログラム(夏季・春季開催)。大学では学べない実際の仕事を体験することで、将来、海外で働くことに意欲的(海外志向)になることを目的とする。また、UPMでは自らテーマを設定して、英語での調査・インタビュー・プレゼンテーションを行うことで、英語や外国人に対する苦手意識の払拭を目指す。	8~9月	9月	3~4週間	マレーシア	乙	6	4	60	240	千円	
								第一次採択プログラム合計		114	69	4,420	千円
No.	学部	プログラム名/概要 (プログラム名をクリックすると、「実施状況及び成果」が表示されます)	プログラム実施概要			研修先	地域区分	参加 学生数	支援 学生数	知の森支援 額(千円)		知の森 支援総額	
			出国	帰国	現地滞在 期間(日数)					一人当たり	一人当たり		
⑫	経法学部	ハワイ大学研修 学部間協定のあるハワイ大学(マノア)校で研修プログラムを実施し、アメリカ(ハワイ)社会、多文化共生、環境問題などの地域社会の課題について学習する。現地ではディスカッションを中心とする授業に参加するため、充分な事前学習を行う。	2019/2/14	2019/2/23	10	アメリカ	甲	8	8	70	560	千円	
⑬	農学部	後発開発途上国における農業・農村開発の課題認識によるグローバル意識の醸成 農学部の学部生を対象に、学術交流協定校であるカンボジア王立農業大学の学部生とともに、農産物市場調査および農村調査を共同作業で行い、農業・農村を取り巻く課題を見出しその要因や解決方法を検討するプログラム。グローバルな視点を持ち、開発途上国の農業・農村の課題に気づくと、同時に日本の農業・農村の課題にも目を向けることを目的とする。	2019/2/18	2019/2/27	8	カンボジア	乙	8	2	60	120	千円	
⑭	全学教育機構	「ドイツ環境ゼミ」: 環境マインドをもったグローバル人材育成のためのドイツ視察研修プログラム 教養科目「ドイツ環境ゼミ」の中心となるもので、「語学学校における2週間の語学研修」と「Leibniz University Hannoverの教員の協力のもとに行われる1週間の環境関連施設等の視察・調査」からなる。	2019/2/16	2019/3/11	21	ドイツ	甲	5	5	70	350	千円	
⑮	全学教育機構	フランス、リール大学語学・文化研修プログラム 全学部の学部2・3年生を対象に、学術交流協定校であるリール大学で、語学・文化研修を行うプログラム。リール大学の附属語学学校における2週間の語学研修、リール大学の研究室訪問、リール市内・郊外の施設見学、リール大学の日本語学習者たちとの交流を行う。	2019/2/23	2019/3/10	14	フランス	甲	13	12	70	840	千円	
⑯	全学教育機構	マレーシア、サラワク州での農山村調査実践演習プログラム 共通教育「環境マインドを現場で体験するゼミ(熱帯雨林)」において実施するプログラム。海外活動先はマレーシア、サラワク州である。先住民が暮らすロング・ハンガ村とロング・ラマイ村で演習を行う。前者は焼畑農耕、後者は原生林での狩猟採集を主な生業としている。今年度は演習の報告をマレーシア・アトラ大学(UPM)で行う。	2019/3/4	2019/3/13	8	マレーシア	乙	10	10	60	600	千円	
⑰	全学教育機構	マレーシアアトラ大学のELS語学センターにおける春期英語集中プログラム 本学協定校であるマレーシア・アトラ大学(UPM)に併設されているELS語学センターが主催する約4週間の英語プログラム。英語の四技能を集中的に訓練し、語学研修中に日本以外の国から来ている学生との異文化間交流を通してグローバルマインドをはくむ。	2019/2/8	2019/3/11	26	マレーシア	乙	5	5	60	300	千円	
⑱	グローバル教育推進センター	ベトナムFPT大学ビジネス英語及びグローバルインターシッププログラム 全学部生及び修士学生を対象に、経済成長が著しいベトナムにおける最大手グローバル企業FPTコーポレーションが設立したFPT大学(大学間協定校)と協同実施する2コース(ビジネス英語研修2週間+インターシップ1週間、インターシップ4週間)から成るプログラム。	2019/2/20	2019/3/17	25	ベトナム	乙	23	8	60	480	千円	
								第二次採択プログラム合計		77	54	3,490	千円
第一次募集採択プログラム計 13件(86人)		人文:1(10) 教育:2(15) 経法:2(16) 理学:0(0) 医学:1(2) 工学:1(4) 農学:1(3) 繊維:1(4) 機構:2(15) GEC:2(17)		191	123	7,910		千円					
第二次募集採択プログラム計 5件(37人)		人文:0(0) 教育:0(0) 経法:0(0) 理学:0(0) 医学:0(0) 工学:0(0) 農学:1(2) 繊維:0(0) 機構:3(27) GEC:1(8)											
一次・二次募集採択プログラム合計 18件(123人)		人文:1(10) 教育:2(15) 経法:2(16) 理学:0(0) 医学:1(2) 工学:1(4) 農学:2(5) 繊維:1(4) 機構:5(42) GEC:3(25)											